

令和2年度「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業
地域日本語教育スタートアッププログラム 報告書

団体名 八代市 (都道府県・熊本県)

1. 当該地域の情報 (令和3年1月現在)

地域の課題	・現在日本語教室を運営しているボランティア団体の構成員が高齢化のため、今後持続可能な運営が行えるか懸念しており、空白地域になりかねない状況。 ・本市の地勢において、面積が広いことから地域によっては日本語教室の会場まで気軽に通えない外国人市民も多い。 ・他自治体では地域国際化協会が主となって日本語教室の運営を行っているケースがあるが、本市にはそうした組織がない。 ・平成31年3月に「やつしろ国際化推進ビジョン」を策定しており、その基本指針に基づいて本市の現状に合った日本語教室の開設・運営を想定していることから、ボランティア任せではなく、行政主導で広く一般市民に教室運営への参加を呼びかけ、事業を展開する必要がある。																																																																																																																																								
在住外国人数 外国人比率	2.20%(外国人数:2,760人、総人口125,423人) R3.1月末																																																																																																																																								
在留外国人の 状況	【主な国籍と人数】ベトナム(1,175人)、フィリピン(687人)、中国(464人)、カンボジア(195人)、タイ(60人)、インドネシア(48人)、韓国(24人)、朝鮮(16人)、米国(14人)、台湾(12人) 八代市の外国人数推移 <table><tr><th>年度</th><th>総人口</th><th>外国人数</th><th>中国</th><th>フィリピン</th><th>韓国</th><th>ベトナム</th><th>カンボジア</th><th>米国</th><th>英国</th><th>カナダ</th><th>その他</th></tr><tr><td>平成26年度</td><td>130,911</td><td>1,402</td><td>692</td><td>262</td><td>32</td><td>255</td><td>19</td><td>7</td><td>1</td><td>4</td><td>130</td></tr><tr><td>平成27年度</td><td>130,023</td><td>1,590</td><td>635</td><td>308</td><td>31</td><td>451</td><td>34</td><td>8</td><td>2</td><td>4</td><td>117</td></tr><tr><td>平成28年度</td><td>129,358</td><td>1,904</td><td>577</td><td>378</td><td>71</td><td>692</td><td>60</td><td>8</td><td>2</td><td>4</td><td>112</td></tr><tr><td>平成29年度</td><td>128,311</td><td>2,098</td><td>495</td><td>479</td><td>58</td><td>841</td><td>83</td><td>2</td><td>9</td><td>5</td><td>126</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td>127,306</td><td>2,474</td><td>480</td><td>625</td><td>42</td><td>1,048</td><td>110</td><td>9</td><td>3</td><td>4</td><td>153</td></tr><tr><td>令和元年度</td><td>126,598</td><td>2,705</td><td>468</td><td>705</td><td>28</td><td>1,145</td><td>159</td><td>14</td><td>3</td><td>5</td><td>178</td></tr><tr><td>令和2年度</td><td>125,423</td><td>2,760</td><td>464</td><td>687</td><td>24</td><td>1,175</td><td>195</td><td>14</td><td>2</td><td>2</td><td>197</td></tr></table> ※データは各年度3月末時点のデータを引用、令和2年度においては1月末データを引用 【在留資格】技能実習2号(1,294人)、技能実習1号(372人)、技能実習3号(223人)、永住者(212人)、特定活動(191人)、特定技能1号(105人)、技術・人文知識・国際業務(91人)、日本人の配偶者等(71人)、定住者(43人)、留学(35人) 在留資格別R3.1 <table><tr><th>技能実習2号口</th><th>技能実習1号口</th><th>永住者</th><th>技能実習3号口</th><th>技術・人文知識・国際業務</th><th>日本人の配偶者等</th><th>留学</th><th>興行</th><th>定住者</th><th>特別永住者</th><th>家族滞在</th><th>特定活動</th><th>教育</th><th>特定技能1号</th><th>技能</th><th>経営・管理</th><th>永住者の配偶者等</th><th>高度専門職1号口</th><th>介護</th><th>計</th></tr><tr><td>1,294</td><td>372</td><td>212</td><td>223</td><td>91</td><td>71</td><td>35</td><td>31</td><td>43</td><td>33</td><td>22</td><td>191</td><td>13</td><td>105</td><td>7</td><td>5</td><td>5</td><td>2</td><td>5</td><td>2,760</td></tr></table> 【滞在年数・在留期間などの状況】技能実習生が多いことから3年で帰国する外国人が多い。八代市は、人口減少に伴い基幹産業である農業や製造業を中心に担い手が不足していることから外国人材の導入が活発化している。特に技能実習生の受け入れが近年多く、主にベトナム、フィリピン、中国といった国籍が多い。最近ではカンボジア、タイ、インドネシアからの技能実習生も増加傾向にある。	年度	総人口	外国人数	中国	フィリピン	韓国	ベトナム	カンボジア	米国	英国	カナダ	その他	平成26年度	130,911	1,402	692	262	32	255	19	7	1	4	130	平成27年度	130,023	1,590	635	308	31	451	34	8	2	4	117	平成28年度	129,358	1,904	577	378	71	692	60	8	2	4	112	平成29年度	128,311	2,098	495	479	58	841	83	2	9	5	126	平成30年度	127,306	2,474	480	625	42	1,048	110	9	3	4	153	令和元年度	126,598	2,705	468	705	28	1,145	159	14	3	5	178	令和2年度	125,423	2,760	464	687	24	1,175	195	14	2	2	197	技能実習2号口	技能実習1号口	永住者	技能実習3号口	技術・人文知識・国際業務	日本人の配偶者等	留学	興行	定住者	特別永住者	家族滞在	特定活動	教育	特定技能1号	技能	経営・管理	永住者の配偶者等	高度専門職1号口	介護	計	1,294	372	212	223	91	71	35	31	43	33	22	191	13	105	7	5	5	2	5	2,760
年度	総人口	外国人数	中国	フィリピン	韓国	ベトナム	カンボジア	米国	英国	カナダ	その他																																																																																																																														
平成26年度	130,911	1,402	692	262	32	255	19	7	1	4	130																																																																																																																														
平成27年度	130,023	1,590	635	308	31	451	34	8	2	4	117																																																																																																																														
平成28年度	129,358	1,904	577	378	71	692	60	8	2	4	112																																																																																																																														
平成29年度	128,311	2,098	495	479	58	841	83	2	9	5	126																																																																																																																														
平成30年度	127,306	2,474	480	625	42	1,048	110	9	3	4	153																																																																																																																														
令和元年度	126,598	2,705	468	705	28	1,145	159	14	3	5	178																																																																																																																														
令和2年度	125,423	2,760	464	687	24	1,175	195	14	2	2	197																																																																																																																														
技能実習2号口	技能実習1号口	永住者	技能実習3号口	技術・人文知識・国際業務	日本人の配偶者等	留学	興行	定住者	特別永住者	家族滞在	特定活動	教育	特定技能1号	技能	経営・管理	永住者の配偶者等	高度専門職1号口	介護	計																																																																																																																						
1,294	372	212	223	91	71	35	31	43	33	22	191	13	105	7	5	5	2	5	2,760																																																																																																																						
在住外国人の 日本語教育の現状	現在、地域日本語支援やつしろクラブが小規模で外国人市民向け日本語教室を開設している。 場所:八代教育会館(市街地) 運営人数:12名 平均年齢:70代 <ベトナム・インドネシア技能実習生向け講座(月3回)>受講者数:平均7名 他、要望に応じて、受講者宅へ赴き指導を行うこともある。																																																																																																																																								

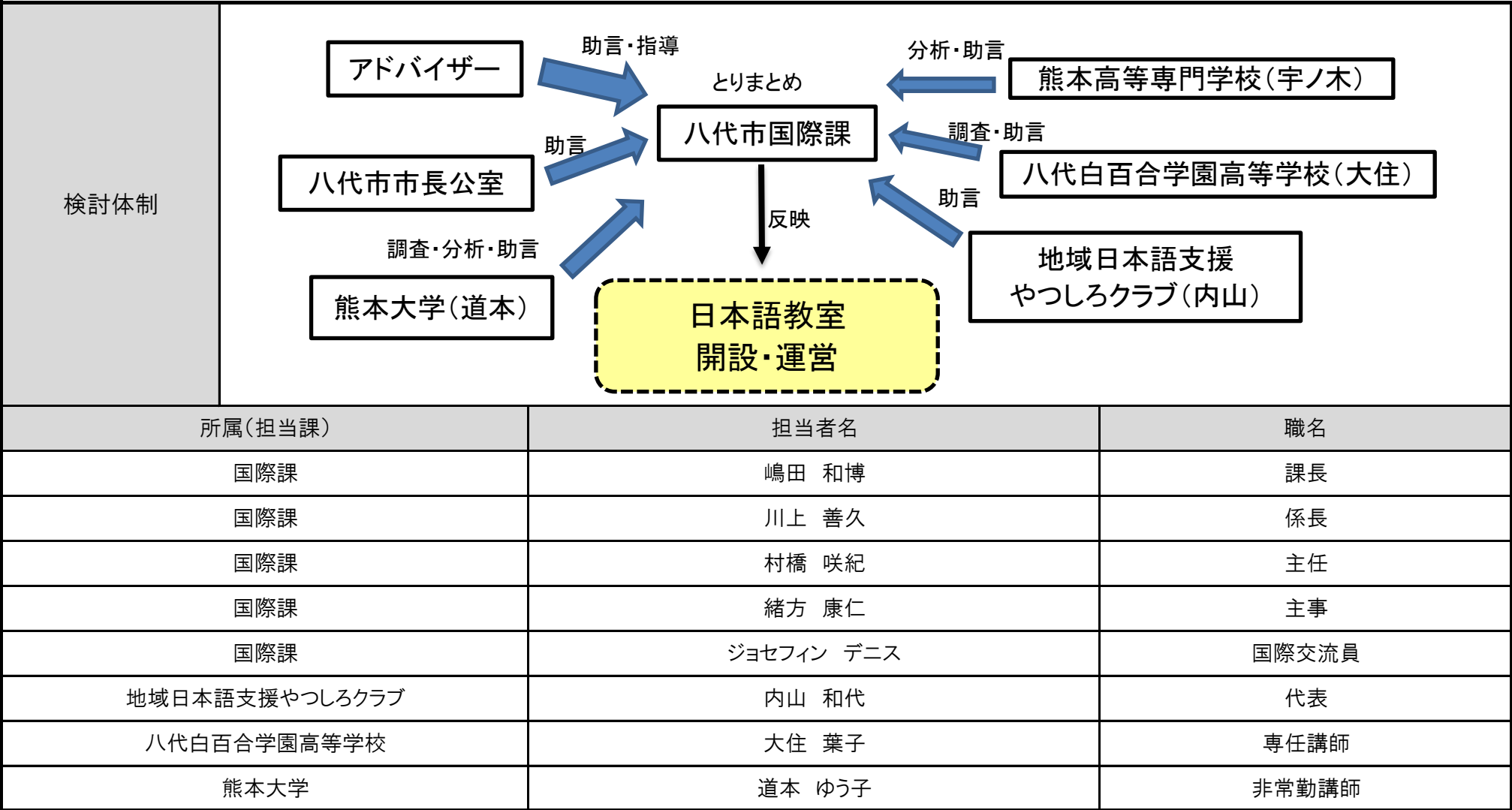
2. 事業の内容

本プログラム取組年数	2年目
事業の目的	・日本人市民と外国人市民の交流拠点となる日本語教室の設置により、「やつしろ国際化推進ビジョン」に掲げる多文化共生のまちづくりの推進や目標とする都市像である「世界の笑顔が花咲く国際都市やつしろ」の実現を目指す。 ・事業実施にあたっては、「やつしろ国際化推進ビジョン」の基本指針に基づき、以下に掲げる方針のもと、自走可能な日本語教室の開設に向けて取り組む。 (1)八代市に住む外国人市民が、自信をもって生活できる日本語能力が身につく教室 (2)日本人市民も外国人市民も互いが学び合える多文化共生の推進を担う教室 (3)外国人市民が気軽に通いやすい教室 (4)八代の魅力(文化やイベントなど)が学べる教室
事業の概要	1年目で得られた成果や課題等を踏まえ、教室運営に必要なカリキュラムの開発などに取り組み、日本語教室を開設・運営できる体制づくりを行った。日本語教室の開催は新型コロナウイルス感染症や令和2年7月豪雨の影響により、次年度に見送ることとした。 ➤カリキュラムの開発 ・コーディネーターのうち行政担当者、日本語教師が中心になり、公開されている教材の活用について検討するとともに、地域の特色を生かしたカリキュラムの開発を行った。 ➤外国人材雇用企業アンケート・ヒアリング調査の実施 ・外国人材を雇用する企業を対象に雇用状況のアンケート調査やヒアリング調査を行った。 ➤外国人市民ヒアリング調査の実施 ・技能実習生や外国人婦人会、留学生に開発したカリキュラム内容を説明し、意見集約を行った。 ➤やさしい日本語オンライン講座の実施 ・市民向けやさしい日本語講座を実施し、国際理解の向上を図るとともに、サポーター(ボランティア)人材の掘り起こしを行った。 ➤日本語教室のオンライン活用について検討 ・日本語教室の開催について、オンラインでの実施方法を検討した。 ➤自走可能な日本語教室運営の研究 ・日本語教室については、本市で立ち上げを予定している国際交流協会において運営することを想定していることから、そのシミュレーションを行い自走可能な日本語教室の運営について研究した。 ➤アドバイザー及びコーディネーター会議による協議 ・開発したカリキュラムの意見収集や自走可能な日本語教室の運営に向けて協議を行った。 ➤情報収集(文化庁主催の研修への参加等) ・日本語教室に関する先進的な取り組みや運営手法等について学ぶとともに、文化庁主催の研修に出席し、コーディネーターのスキルアップを図った。
事業の対象期間	令和2年4月～令和3年3月

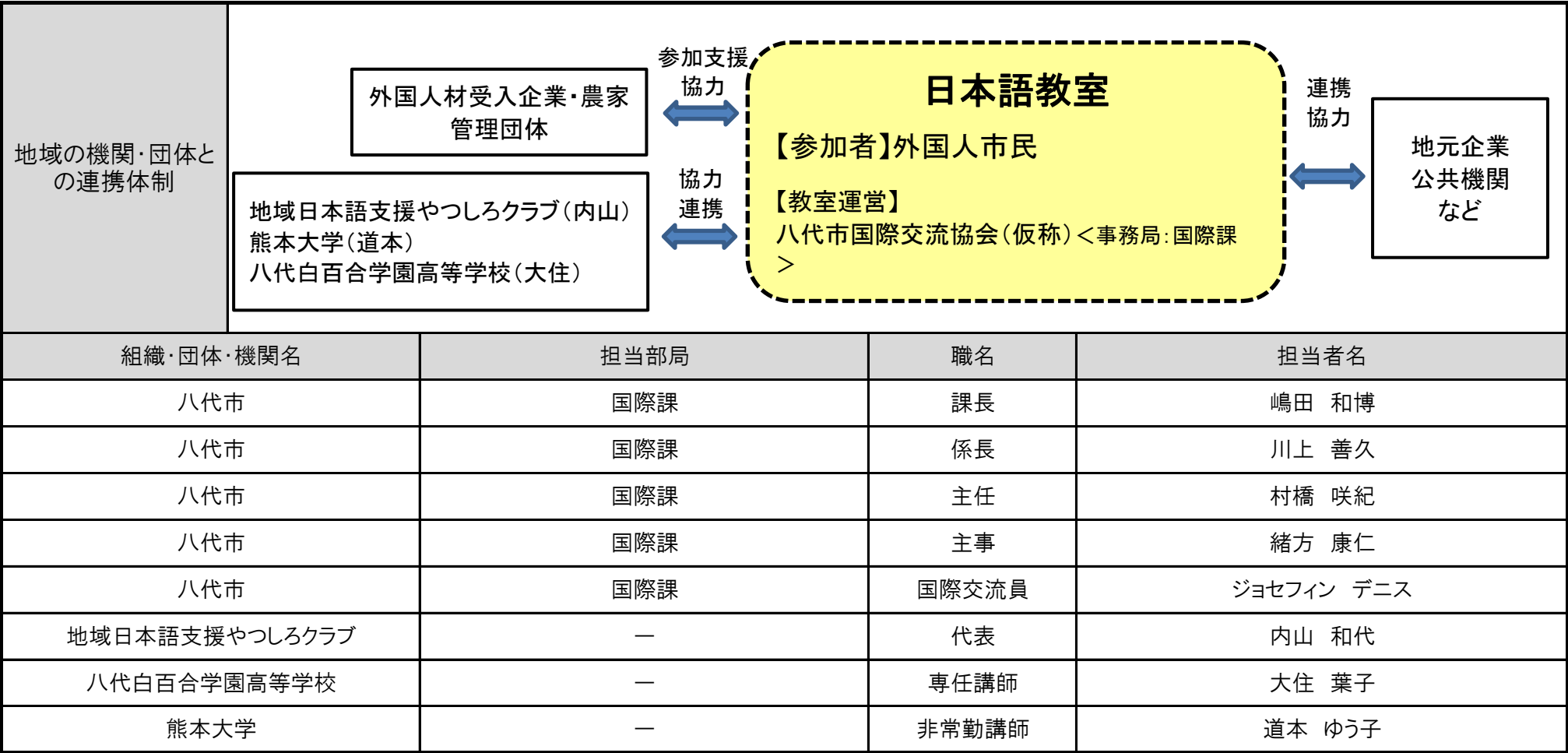
前年度の実績 (2年目以降の 団体のみ記載)	・キックオフ会議・・・本市の国際化の現状等について情報共有を行うとともに事業計画作成に向けた協議を実施。 ・コーディネーター会議(2回)・・・事業年度における活動内容や今後の展開について協議。 ・年度末アドバイザー・コーディネーター会議・・・地域日本語教室試験教室の実施に向けた協議や次年度の活動に関する意見交換を実施。 ・地域日本語教育座談会の開催・・・アドバイザーに協力いただき、市内で活動する国際交流ボランティア団体との座談会を開催。 ・地域日本語教室試験教室の実施(2回)・・・教室運営の雰囲気を共有し、課題等を抽出するため試験的に日本語教室を実施。 ・先進地視察・・・(視察先)親子日本語教室(新宿区立大久保小学校)、しんじゅく多文化共生プラザ、銚子市役所、千葉市国際交流協会 ・空白地域解消推進協議会出席、地域日本語教育コーディネーター研修参加(2回)、担当者情報交換会出席			
担当コーディネーター	氏名	所属	職名	担当する役割
	嶋田 和博	八代市国際課	課長	全体コーディネート(事務総括)
	川上 善久	八代市国際課	係長	全体コーディネート(事務主査)
	村橋 咲紀	八代市国際課	主任	全体コーディネート(事務補助)
	緒方 康仁	八代市国際課	主事	全体コーディネート(事務主査)
	ジョセフィン デニス	八代市国際課	国際交流員	助言
	宇ノ木 寛文	熊本高等専門学校	教授 グローバルリーダーシップ育成センター副センター長	分析、助言
	内山 和代	地域日本語支援やつしろクラブ	代表	助言
	大住 葉子	八代白百合学園高等学校	専任講師	教材・カリキュラム開発、助言
	道本 ゆう子	熊本大学	非常勤講師	教材・カリキュラム開発、助言
担当アドバイザー	氏名	所属	職名	継続・新規の別
	関口 明子	公益社団法人国際日本語普及協会(AJALT)	理事長	継続(2年目)
	八木 浩光	一般財団法人熊本市国際交流振興事業団	事務局長	継続(2年目)
	吉田 聖子	公益財団法人川崎市国際交流協会	評議員	継続(2年目)

3. 日本語教室の設置に向けた検討体制

(1)地域における日本語教育の実施に向けた検討体制



(2)日本語教室の実施に向けた事業運営体制図



4. 具体的な取組内容

(1)年間を通じた取組内容

年月	主な取組内容	コーディネーターの主な活動	アドバイザーの来訪
令和2年 4月			
令和2年 5月			
令和2年 6月	(6/10) コーディネーター会議(オンライン) (6/11)本プログラムオリエンテーション出席(オンライン) (6/17) コーディネーター会議(オンライン) (6/19) アドバイザー・コーディネーター会議(オンライン)	【コーディネーター会議】 事業計画書作成 【本プログラムオリエンテーション】 事業概要、事業の進め方など 出席者：川上 【アドバイザー・コーディネーター会議】 事業計画について検討	★事業計画について検討
令和2年 7月			
令和2年 8月	(8/11) コーディネーター会議(オンライン)	【コーディネーター会議】 サポーター募集・延期、教室の方向性、 カリキュラムの作成など協議	
令和2年 9月	(9/4) コーディネーター会議(オンライン) (9/8) 市内外国人材雇用企業アンケート調査実施(八代市・八代商工会議所・八代市商工会連名)	【コーディネーター会議】 カリキュラムの作成、オンラインの活用など協議 【市内外国人材雇用企業アンケート調査】 市内企業の外国人材雇用状況を調査 発送数：2,534件、回答数：705件、回収率：27.8%	
令和2年 10月	(10/1) コーディネーター会議(オンライン) (10/29) アドバイザー・コーディネーター会議(オンライン)	【コーディネーター会議】 カリキュラムの作成、アドバイザー・ コーディネーター会議協議事項検討 【アドバイザー・コーディネーター会議】 カリキュラム開発の報告・意見集約	★作成したカリキュラム案に対しアドバイ ス
令和2年 11月	(11/2) 実施団体意見交換会出席(オンライン) (11/24～11/27) 外国人材雇用企業訪問・ヒアリング	【任用団体意見交換会】 進捗状況報告、ノウハウ共有、情報共有 出席者：道本、川上、緒方 【外国人材雇用企業訪問・ヒアリング】 市内企業5社の担当者に作成したカリキュ ラム案について説明・意見収集	
令和2年 12月	(12/2) 空白地域解消推進協議会出席(オンライン) (12/8) 外国人市民ヒアリング(神田工業：技能実習生) (12/22) 外国人市民ヒアリング(華聯会：日本人の配偶者等)	【空白地域解消推進協議会出席】 文化庁日本語教育施策、事例発表 出席者：川上、緒方 【外国人市民ヒアリング】 作成したカリキュラム案について説明・意 見収集	
令和3年 1月	(1/19) 外国人市民ヒアリング(熊本高専八代キャンパス：留学生)	【外国人市民ヒアリング】 作成したカリキュラム案について説明・意 見収集	
令和3年 2月	(2/10) コーディネーター会議(オンライン) (2/26) アドバイザー・コーディネーター会議(オンライン) (2/28) 市民向けやさしい日本語講座(オンライン)	【コーディネーター会議】 カリキュラム追加案の作成、サポーター募集・養成の検 討、アドバイザー・コーディネーター会議協議事項検討 【アドバイザー・コーディネーター会議】 カリキュラム追加案について説明・意見収集 今年度の活動の振り返り、次年度について 【市民向けやさしい日本語講座】 市民・市職員8名にやさしい日本語講座を実施	★カリキュラム追加案に対しアドバイス 次年度の活動に向けたアドバイス
令和3年 3月			

(2)立ち上げた日本語教室の詳細

教室の名称		【新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点や令和2年7月豪雨の被害状況を考慮し中止】					
外国人参加者について					参加者数 (内 外国人数)		
開催時間数		総時間 時間		内訳 時間 × 回			
目標							
実施内容							
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	内容	授業概要	支援者数
1							
2							
3							
4							
5							

教室の立ち 上げに係る 問題とその 対応策	
--------------------------------	--

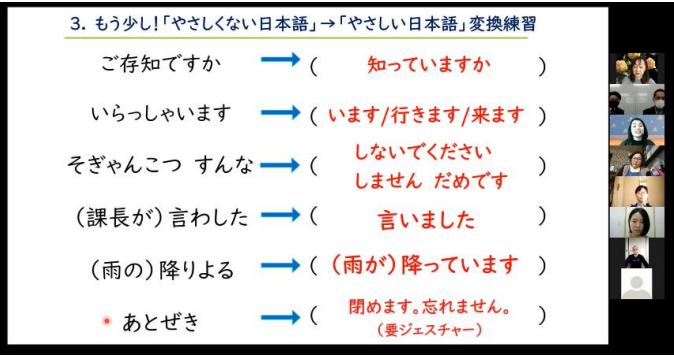
(3)その他関連する取組

取組名称	実施期間	内容
日本語教室カリキュラム作成作業	令和2年9月～令和3年2月	日本語教室を開催するにあたって、迅速に活動ができるよう事前にカリキュラム作成及び内容の充実を図るもの。テーマ型・体験型の教室を実施するため、コーディネーター（道本・大住・川上・緒方）が中心となり、 「市の特色を活かした体験」、「日本の伝統・文化体験」、「祭り」、「異文化理解」の4つの種別から全24課を作成した。 作成に当たっては後述する企業向けのアンケート調査やヒアリング調査、外国人市民向けのヒアリング調査などを行い、収集した意見をもとにカリキュラム内容のブラッシュアップを図った。
外国人材雇用企業アンケート・ヒアリング調査	＜アンケート調査＞ 令和2年9月8日～10月16日 ＜ヒアリング調査＞ 令和2年11月24日～27日	本市の外国人材を雇用する企業を対象に八代市、八代商工会議所、八代市商工会の連名で雇用状況調査を実施した。 その結果を受けて、5社の企業の担当者を訪問し雇用状況をより細かくヒアリングすると共に、日本語教室で実施予定のカリキュラム内容について説明し、意見集約を行った。
外国人市民ヒアリング調査	令和2年12月8日 12月22日 令和3年1月19日	本市の企業で働く技能実習生や外国人婦人の会、留学生に作成したカリキュラム内容を説明し、意見集約を行った。同時に、生活時の困りごとや本市で生活を始めた時に苦労したことなどをヒアリングした。
やさしい日本語講座（オンライン）	令和3年2月28日	市民向けにやさしい日本語講座を行うことで、国際理解の向上を図るとともに本事業の趣旨を伝達する場を設け、次年度以降にサポーターとして協力してもらえる人材の掘り起こしを行ったもの。 市民・市職員併せて8名が受講し、オンラインで双方向に受け答えをする講義内容で理解を深めた。

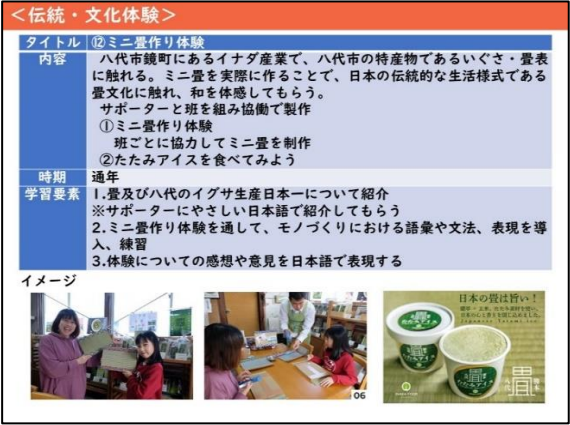
【主な活動】



外国人市民ヒアリング調査風景



やさしい日本語講座（オンライン）
実施風景



作成したカリキュラム（一部抜粋）

5. 今年度事業全体について

進捗状況	新型コロナウイルス感染症の影響や、令和2年7月豪雨の影響により、本来実施する予定だった日本語教室の実施を中止することとなった。 その中で、これから立ち上げる教室で活用するカリキュラムの作成に注力することとし、実施できる状況に備えて、円滑な教室開催が行えるような取組を行うこととした。外国人材を雇用している企業の担当者や参加者として想定している技能実習生や定住者、留学生を訪問し、作成したカリキュラムを説明し意見集約を行うことで関係者や参加者の意見を反映したカリキュラム内容を構成した。併せて、教室運営の協力者となるサポーター（ボランティア）の募集方法や養成講座の内容を再検討した。	
事業推進にあたり問題点と対応策	カリキュラム内容の充実を図るためヒアリング調査を行ったが、新型コロナウイルス感染防止の観点から対面でのヒアリング調査に協力を得られない先も多かった。協力頂ける先でも、感染防止対策を徹底していただきたいと要請があったことから、マスク、アルコール消毒液、飛沫防止用の衝立を設置するなど対策を行った。 人を集めての活動が困難な状況で市民向けのアプローチとして、Zoomを活用しオンラインでやさしい日本語講座を実施した。	
成果	・次年度開催する日本語教室のカリキュラム案を24課作成することができた。 ・市民向けやさしい日本語講座（オンライン）を実施し、講座を通じて市民に日本語教室の開催に向けた取組みを説明し、協力者候補となり得る人材とのつながりを作ることができた。 ・スムーズにサポーター（ボランティア）を養成できるよう、養成講座の内容の検討を進め、次年度当初スタートダッシュを切れるよう準備を行った。	
地域の関係者との連携による効果	・経済団体である八代商工会議所、八代市商工会と連携し、外国人材を雇用する企業にアンケート調査を実施したことで、市内における外国人材を雇用する企業がどのくらいあるのか全体を把握することができた。併せて、アンケートに協力いただいた企業の担当者に直接訪問しヒアリングを行ったことで顔が見える関係づくりができた。日本語教室への取り組みについて説明した際は、いずれの企業の担当者も好感を持っていたことから、当方が日本語教室への参加を周知する際には、担当者からの後押しも期待できると思われる。 ・市民向けやさしい日本語講座（オンライン）を実施し、講座を通じて市民に日本語教室の開催に向けた取組みを説明し、協力者候補となり得る人材とのつながりを作ることができた。（再掲）	
コーディネーターの主な活動	①会議開催（49.1H） ②研修等への参加（20H） ③カリキュラム作成（130H） ④アンケート・ヒアリングなどの調査（109H） ⑤やさしい日本語講座（20H） ⑥事業の全体調整・庶務（120H）	
アドバイザーの主な助言	・新型コロナウイルス感染症の流行及び令和2年7月豪雨の発災に伴う日本語教室実施判断に対する助言 ・事業計画の修正に関する相談と助言 ・カリキュラム作成における助言 ・次年度事業実施に向けた助言 など	
今後の課題	本市は次年度で3年目となり、スタートアッププログラムで支援を受けられる最後の年が唯一の実践の年となる。 サポーター（ボランティア）の募集から日本語教室の開催までの一連の流れでいかに質の高い経験を積むことができるかが来年度重要であり、さらには、スタートアッププログラムを卒業した後を意識した持続可能な教室運営の仕組みづくりも行っていかなければならない。 そのためには、サポーター（ボランティア）の募集から開催までの活動の早期着手及び計画的な教室運営を徹底すると共に、一つひとつの活動を実施から振り返りまで丁寧に行うことで質の高い経験を蓄積していくことが必要となる。 また、持続可能な運営を行うために、サポーター（ボランティア）のモチベーション維持のため切れ目のない活動の実施や新型コロナウイルス感染防止対策の徹底、今後の教室運営の中核を担う人材の発掘と育成、運営主体となる組織（国際交流協会）の設立などマルチに取り組んでいくことも意識していかななくてはならない。	
今後の予定	令和3年度の主なスケジュール（案） ※研修等を除く （4月）アドバイザー・コーディネーター会議、サポーター（ボランティア）募集 （5月）サポーター（ボランティア）養成講座、教室参加者募集 （7月）先進地視察 （10月）アドバイザー・コーディネーター会議、先進地視察 （2月）アドバイザー・コーディネーター会議 （6月～2月）日本語教室月1回開催 その他：月1回のペースでコーディネーター会議を実施	～令和3年度の活動について～ ・会議での協議 ・教室カリキュラムの更新 ・サポーター（ボランティア）の募集、育成 ・教室参加者の募集 ・先進地視察 ・日本語教室の開催 ・文化庁主催研修への参加 など

本件担当 ： 八代市役所国際課政策推進係